

本のご紹介

2021年2月4日

「関釜裁判がめざしたもの－韓国のおばあさんたちに寄り添って」

この度、花房俊雄と恵美子は表題の本を出版しました。

韓国語版はもう少し遅れて出版します。

私たち夫婦は40代になって関釜裁判とその原告ハルモニたちに出会いました。

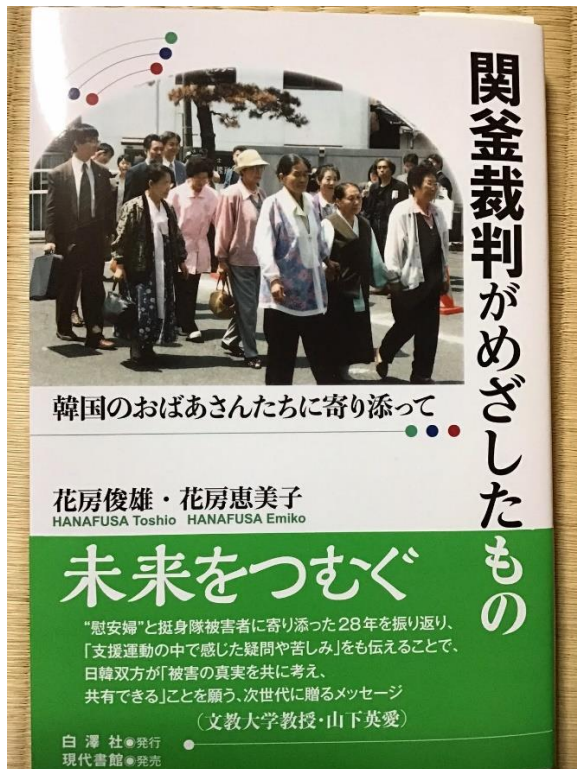
今、私たちは当時の彼女たちの年齢を超えました。彼女たち10人のうち8人がお亡くなりになり、この裁判を知る人たちも少なくなりました。

彼女たちと彼女たちを支えた日本人のことを、日本の戦後責任を果たしたいと願って彼女たちと共に闘った日本人のやってきたことを日韓両国の人々に伝え残したいと思いました。

この本はそのような思いで書いています。

28年間の活動記録でもあるこの本を読んでもいただけると嬉しいです。

この本が日韓両国の対立を解決するのに少しでも役に立てば、この上ない喜びです。



図書情報

[書名] 関釜裁判がめざしたもの

[副書名] 韓国のおばあさんたちに寄り添って

[著者] 花房俊雄、花房恵美子

[頁数・判型] 四六判並製、288頁

[定価] 2,400円＋税

ISBN978-4-7684-7984-1

白澤社＝発行(現代書館＝発売)